



報道で紹介された美瑛高校 21

◆令和6年9月28日(R6. 10. 5びえい新聞)

春に引き続き、秋の「美瑛町日本で最も美しい村づくり」ボランティアに有志が参加しました。美瑛の美しさに惹かれ国内外から多くの方々がやってきています。生活の中でなかなか気がつくことは難しいですが「日本で最も美しい村」で生活していることに誇りを持ち次の世代に繋げていきたいですね。

ボランティアに参加した生徒の皆さん、先生方大変お疲れ様でした。

町内の各団体や美瑛中学校、美瑛高校の生徒達も参加し協働作業。「美瑛町日本で最も美しい村づくり」町民参画事業「丘のまち缶トリートメント」が、9月28日にパノラマロードやパッチワークの路、役場周辺で行われた。同活動は特定非営利活動法人「日本で最も美しい村」連合では、「私の村をいつまでもビューティーに」のテーマのもと、設立日の10月4日をビューティーフルデーとして、前後1週間以内に連合加盟の各地域で一斉に清掃活動を実施。美しい村が美しいままであり続けていることを地域住民が再認識し、次なる村の将来に向けて機運を高めることを目的として毎年、実施されている。

今年は社会貢献活動として日本生命が参加。美瑛中



21団体148人が美しい村づくりに協力
丘のまち缶トリートメントで清掃活動

学校や美瑛高校の生徒、老人クラブ連合会、建設業協会、商工会、すずらん大学、デイセンターすずらん、町職員をはじめ、21団体148人がボランティアでの清掃活動を行った。参加者はそれぞれバスに分乗し担当する地区で3、4人ほどのグループになり歩いて道路わきのゴミや空き缶などを回収。「今年もゴミは少なめ」との言葉もありながら、協力してボランティア活動に取り組んだ。なお参加者には、Beコイン500ポイントが付与されている。

